

平成26年度  
年 報



## ■ 目 次 ■

◆目的及び事業	2～3
◆平成 26 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	5～6
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	7
VI 啓発広報事業	8
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◆統計・資料	
I 平成 26 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 26 年度 事業別利用状況	9
III 平成 26 年度 資料収集状況	10
◆組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職 員	11
◆その他	
I 文学館の歩み	12～13
II 諸会議・運営日誌	14～16
III 公益財団法人北海道文学館役員名簿	17

## ■ 目的及び事業 ■

### ●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）
- (2) 12月29日から翌年の1月3日まで  
（利用料金）

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 大学等（大学その他規則で定める学校をいう。以下同じ。）は、その学生が博物館に展示する資料（常設展示に限る。）を観覧する場合の利用料金として、年間利用料金を指定管理者に納めることができる。
- 3 前2項の規定により指定管理者に納められた利用料金及び年間利用料金（以下この条において「利用料金等」という。）は、指定管理者の収入とする。
- 4 利用料金の額は別表第1に定める額の範囲内、年間利用料金の額は別表第2に定める額の範囲内において、それぞれ指定管理者が知事の承認を受けて定める。これらを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	500円	1人に 330円 つき
2 1以外の者（学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。）	950円	1人に 770円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			70,900円
講堂	9,470円	11,830円	18,170円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	1,410円	1人に 1,220円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	2,320円	1人に 1,720円 つき
3 1及び2以外の者（学齢に達しない者を除く。）	3,520円	1人に 2,730円 つき

## ■ 平成 26 年度事業概要 ■

### I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	827 点
寄贈資料受入れ総数（同上）	8,907 点
	9,734 点
整理・保存	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等
閲覧	利用者 延 5,990 人

### II 展覧会事業

#### (1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (309 日間)	11,598	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を紹介。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別展 「氷点」50 年 三浦綾子フォトメモリアル	4/19(土) ～ 7/6(日) (68 日間)	6,016	信仰にもとづく愛をテーマに創作を続けた作家・三浦綾子の代表作「氷点」が発表されて今年で 50 年。札幌在住の写真家・後山一朗の写真コレクションを主軸に、現代に生きる三浦文学の魅力を紹介。
	特別展 FROM HAND TO HAND 手から手へ展	7/19(土) ～ 8/24(日) (32 日間)	3,273	2011 年の東日本大震災後、日本の絵本作家たちが中心となり、「3.11 後の世界から私たちの未来を考える」というテーマで、世界の絵本作家たちに作品制作を呼びかけ、その結果集まった 7 か国 110 人による絵とメッセージを紹介。
	特別展 ムーミンの世界展 ～ヤンソンさんからの贈り物～	9/6(土) ～ 11/9(日) (57 日間)	17,393	フィンランドの作家トーベ・ヤンソンによって生み出されたキャラクター「ムーミントロール」。以来、「ムーミン」シリーズは、物語や絵本、コミックス、アニメーションなど、さまざまな形で 70 年近くにわたって世界中の人々を魅了し続けてきました。今年生誕 100 年を迎えたヤンソンによるムーミンの世界を紹介。
	ファミリー文学館 “うま”とあそぼう!!	11/22(土) ～ 1/18(日) (45 日間)	1,486	北海道の開拓時代をはじめ、人間の生活には寄り添うように「馬」がいました。そのような馬の姿を小説・詩・短歌・俳句作品や絵本を通して紹介。
	特別展 小檜山博の文学 —野性よ退化する現代を撃て—	1/31(土) ～ 3/22(日) (44 日間)	2,067	滝上町生まれの小説家・小檜山博は、1970 年代半ばから北海道に生きる人間をテーマに「出刃」、「光る女」、自らのルーツを凝視した「光る大雪」など小説を発表し、多くの衝撃と感動を与えている。また、エッセイスト・コラムニストとしても活躍し、珠玉の作品を発表している小檜山博の文学世界の魅力を紹介。

#### 【文学館アーカイブコーナー】

- ・第 1 期展示〔4 月 8 日(火)～6 月 29 日(日)〕  
梁川剛一の紙芝居  
函館出身の挿絵画家・梁川剛一の紙芝居を新着資料中心に紹介。
- ・第 2 期展示〔7 月 8 日(火)～9 月 28 日(日)〕  
掛川源一郎の写真—風景の始源へ—  
掛川源一郎の写真作品を文章とともに紹介。
- ・第 3 期展示〔10 月 7 日(火)～12 月 28 日(日)〕  
森の人デルス・ウザーラ原画作品  
ロシアの画家パヴリーシンが描いた原画作品を紹介。
- ・第 4 期展示〔1 月 12 日(月)～3 月 29 日(日)〕  
武井武雄の世界  
武井武雄（童画家、版画家、造本作家）による刊本作品を紹介。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎「札幌農学校」 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海道文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井廣治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、斎藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨園子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和初期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	備考	
教育普及事業	講演会・セミナー・講話等	映画上映会「氷点」	4/26(土)2回 4/27(日)	227	「氷点50年展」関連事業	
	〃	文芸対談「三浦綾子さんの思い出」 講師：後山一朗(写真家)、合田一道(作家)	5/11(日)	80	〃	
	〃	特別講演会「銃口の背景」 講師：佐竹直子(北海道新聞記者)	5/18(日)	79	〃	
	〃	朗読会「三浦綾子作品を読む」	5/31(土)、6/15(日)	50	167	〃
	〃	文芸講演会「三浦綾子の文学」 講師：神谷忠孝(財団理事長)	6/8(日)	62	〃	
〃	「手から手へ展」オープニングセレモニー	7/19(土)		20	「手から手へ展」関連事業	

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	備考
講演会・セミナー・講話等	文芸講演会「絵本の楽しみは深くて広い」講師：藤田春義(こどものとも社代表取締役)	7/21(月)		39	「手から手へ展」関連事業
〃	合唱コンサート「手から手へ」のころ 歌にのせて」出演：中島中学校、柏中学校、幌西小学校	7/26(土)、8/9(土)、8/24(日)		181	〃
〃	文芸講演会「手から手へ展のはじまりとこれまで。そして、これから」講師：降矢奈々(絵本作家)	7/27(日)	80	88	〃
〃	ワークショップ「わたしからあなたへ お絵かきバトン」講師：かとうまふみ	8/2(土)		23	〃
〃	読み聞かせ「手から手へ」読み聞かせタイム	8/7(木)、8/10(日)		43	〃
〃	ワークショップ「ウマのマリオネットをつくろう」講師：おたのしみ劇場ガウチョス	11/29(土)		18	ファミリー文学館関連事業
〃	文芸トーク「馬—加藤多一の世界」講師：加藤多一、札幌南高校図書員	12/13(土)		47	〃
〃	読み聞かせタイム	11/22(土)、12/6(土)、12/13(土)、12/27(土)、1/10(土)、1/17(土)		44	〃
〃	文芸講演会「自作を語る」講師：本田哲也(絵本作家)	1/18(日)	80	31	〃
〃	「小椋山博展」オープニングセレモニー	1/31(土)		78	「小椋山博展」関連事業
〃	文芸講演会「私の原風景」講師：小椋山博(作家)	1/31(土)	80	120	〃
〃	文芸講演会「小椋山博文学の現代的意義」講師：神谷忠孝(北大名誉教授)	2/8(日)		39	〃
〃	朗読会「小椋山博のエッセイを読む」	2/15(日)、3/7(土)		142	〃
〃	映画上映会「恋するトマト」	2/22(日)		105	〃
〃	文芸トーク「小椋山博への質問」講師：小椋山博(作家)、阿部典英(造形作家)	3/8(日)		108	〃
講演会・セミナー・講話等	公開読書会 出演：小椋山博文学を読む会	3/15(日)		75	〃
朗読会	「原田康子の世界」 朗読：松井信子、田村英一	10/4(土)	60	71	
古典の日記念朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵	11/7(金)	60	120	
月例朗読会	朗読：朗読表現「ゆうの会」ほか4団体	年10回	600	708	
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催	700	513	
映画鑑賞会	「若い人」	6/29(日)	60	61	
映画鑑賞会	「パペットアニメーション〜ムーミン谷の夏まつり」	9/28(日)2回実施	60	137	
映画鑑賞会	「新選組始末記」	12/21(日)	60	65	
映画鑑賞会	「南極料理人」	3/22(日)	60	73	
市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	25市町村28会場	1,200	2,286	
市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催した。	3市町村3会場	500	5,221	
ロビーコンサート	中華二胡学院 with 札幌藩陽合奏 バロック・コレギウム・サッポロ	11/14(金) 11/19(木)	60	120	
文学道場	「中・高生のための創作講座」	7/30(水)～8/1(金)	20	51	
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰	11/22(土)～1/18(日)	3,000	4,291	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	11/22(土)		62	
ファミリー文学館	ワークショップ「塗り絵・ゆらゆら木馬」	11/22(土)～1/18(日)	2,000	465	
文字・活字文化の振興事業	「ファンタジーと神話—古事記からムーミンまで」講師：金沢英之(北大文学部准教授)	11/2(日)	60	81	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2014」 展示室の夜間開館等を実施	7/18(金)	200	345	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(309日間)		5,990	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(309日間)		1,570	
負担金事業計			9,070	24,046	
※ 講演会・セミナー・講話等	池澤館長連続講演会	1～3月(全3回)		512	
※ 研修事業	長期休業期間における指導者研修(2回) 高校教育研究会石狩支部研修会	8/7(木)、1/8(木) 7/15(火)		52	
※ ウィークエンド・カレッジ	・生涯読書会、川柳、韓国文化、資料解説4講座	5～3月の金、土	240	278	
※ 文学館まつり	ギャラリー文学館、文学館演芸場、子ども広場、秋のミニ色紙づくりなど	9/23(火)	300	303	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	500	235	
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(309日間)	100	115	
自主企画事業計			1,140	1,495	
教育普及事業参加者 計			10,210	25,541	



#### IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 特別展「氷点50年 三浦綾子フォトメモリアル」関連資料調査
- ② 特別展「FROM HAND TO HAND 手から手へ展」関連資料調査
- ③ 特別展「ムーミンの世界展」関連資料調査
- ④ ファミリー文館「“うま”とあそぼう!!」関連資料調査
- ⑤ 特別展「小檜山博の文学」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「渡辺淳一展」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「挿絵の美展」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「文豪・谷崎潤一郎展」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「さとぼろ展」関連資料調査

#### V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに共催名義の使用を承認して支援した。

- ① ヴァイオリン&ギタースプリングデュオコンサート実行委員会  
ヴァイオリン&ギタースプリングデュオコンサート  
(平成26年4月20日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② 中川町教育委員会  
斎藤茂吉記念第21回中川町短歌フェスティバル  
(平成26年6月1日～10月31日 中川町)
- ③ こころのコンサート実行委員会  
こころのコンサート  
(平成26年6月7日 北海道立文学館地階ロビー)
- ④ しの笛北奏会  
山口千壽篠笛演奏会  
(平成26年6月28日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑤ 國松竜次ギターコンサート実行委員会  
國松竜次ギターコンサート  
(平成26年7月5日 北海道立文学館地下ロビー)
- ⑥ 北海道高等学校教育研究会国語部会  
平成26年度北海道高等学校教育研究会石狩支部国語部会役員研究協議会  
(平成26年7月15日 北海道立文学館講堂)
- ⑦ 河合智美ギターコンサート実行委員会  
河合智美ギターコンサート  
(平成26年8月2日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ 戦没学生慰霊美術館「無言館」  
朗読劇 目屋の桜 ―「腐れ胡粉」異聞―  
(平成26年9月21日 北海道立文学館講堂)

- ⑨ NHK 文化センター朗読教室 松井信子クラス  
第 16 回「北海道ゆかりの文学を読む」朗読会  
(平成 26 年 10 月 19 日 北海道立文学館講堂)
- ⑩ 特定非営利法人絵本・児童文学研究センター  
第 19 回文化セミナー「昆虫に学んだこと」—子どもの時代がつくるもの  
(平成 26 年 11 月 16 日 小樽市民ホール)
- ⑪ フレット倶楽部  
東日本大震災被災地復興応援ギターとマンドリンによるチャリティーコンサート  
(平成 26 年 12 月 6 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑫ こころのコンサート実行委員会  
こころのコンサート  
(平成 26 年 12 月 19 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑬ 日本児童文学者協会北海道支部  
草原賞記念講演会“児童文学のいま”  
(平成 27 年 3 月 1 日 北海道立文学館講堂)

## VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR 札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、TV 及び新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 97 号（5 月 30 日付）、第 98 号（8 月 11 日付）、第 99 号（10 月 29 日付）、第 100 号（2 月 24 日付）を発行した。

## VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「小樽山博の文学」図録の刊行
- ② 「平成 25 年度年報」の刊行

## VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入  
博物館実習生 ー14 名（受入期間 7 月～1 月。実習期間 2 週間）

## ■ 統計・資料 ■

### I 平成 26 年度 展覧会別観覧状況

単位：名

区 分	常設展	特 別 展					計	
	北海道の文学	「氷点」50 年展	手から手へ展	ムーミンの世界展	ファミリー文学館	小檜山博の文学展		
開催日数	309	68	32	57	45	44		
有 料	個 人	一 般	717	1,345	1,020	9,803	945	13,830
		高大生	112	29	65	1,096	14	1,316
		小中生				660	7	667
	団 体	小 計	829	1,374	1,085	11,559	966	15,813
		一 般	866	313	178	1,941	274	3,572
		高大生	199	69	77	365	20	730
		小中生				105	1	106
		小 計	1,065	382	255	2,411	295	4,408
免除・招待	9,704	4,260	1,933	3,423	1,486	806	21,612	
観覧者総数	11,598	6,016	3,273	17,393	1,486	2,067	41,833	

### II 平成 26 年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別												計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
展 覧 会 事 業	常設展	869	1,377	1,211	1,117	1,112	1,274	1,258	1,372	367	430	562	649	11,598	
	「氷点」50 年展	1,166	2,312	1,868	670									6,016	
	手から手へ展				917	2,356								3,273	
	ムーミンの世界展						4,728	6,992	5,673					17,393	
	ファミリー文学館								454	647	385			1,486	
	小檜山博の文学展										163	888	1,016	2,067	
														0	
															0
															0
		小 計	2,035	3,689	3,079	2,704	3,468	6,002	8,250	7,499	1,014	978	1,450	1,665	41,833
負 担 金 事 業	講演会・セミナー・講話等	227	241	147	170	224			38	59	241	210	259	1,816	
	文学道場				34	17								51	
	小中高生短歌コンテスト						4,291		62					4,353	
	ファミリー文学館 (ワークショップ)								221	118	126			465	
	映画鑑賞会			61			137			65			73	336	
	地域連携事業 「文学館出前講座」		113	224	138	317	275	525	298	295	101			2,286	
	ミニ巡回展		2,419	1,261	1,270	271								5,221	
	文字活字文化振興事業								81					81	
	朗読会							71	120					191	
	月例朗読会		82	47	85	98	40	54	74	88		70	70	708	
	わくわくこどもランド		134	21	20	101	29	39	42	48	20	18	41	513	
	ロビーコンサート								120					120	
	カルチャーナイト 2014				345									345	
	愛好団体の文学活動	12	94	72	89	107	198	527	150	22	80	62	157	1,570	
	資料閲覧・共同研究	480	522	498	554	532	602	784	583	270	271	398	496	5,990	
	小 計	719	3,605	2,331	2,705	1,667	5,572	2,000	1,789	965	839	758	1,096	24,046	
	負担金事業計	2,754	7,294	5,410	5,409	5,135	11,574	10,250	9,288	1,979	1,817	2,208	2,761	65,879	
財 団 自 主 事 業	講演会・セミナー・講話等										100	234	178	512	
	ウィークエンド カレッジ		15	33	35	35	35	35	36	9	18	18	9	278	
	協働事業				18	17					17			52	
	文学館まつり						303							303	
	文学館たんけんクイズ	8	11	11	7	29	11	15	10		4	4	5	115	
	公演 (コンサート、朗読会)	38		81	18	42				56				235	
	財団自主事業計	46	26	125	78	123	349	50	46	65	139	256	192	1,495	
	ボランティアの活動状況		11	12	30	67	64	35	6	3		22	8	258	
	その他 (喫茶コーナー)	253	228	225	272	304	314	280	239	101	143	229	267	2,855	
	合 計	3,053	7,559	5,772	5,789	5,629	12,301	10,615	9,579	2,148	2,099	2,715	3,228	70,487	

### Ⅲ 平成 26 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

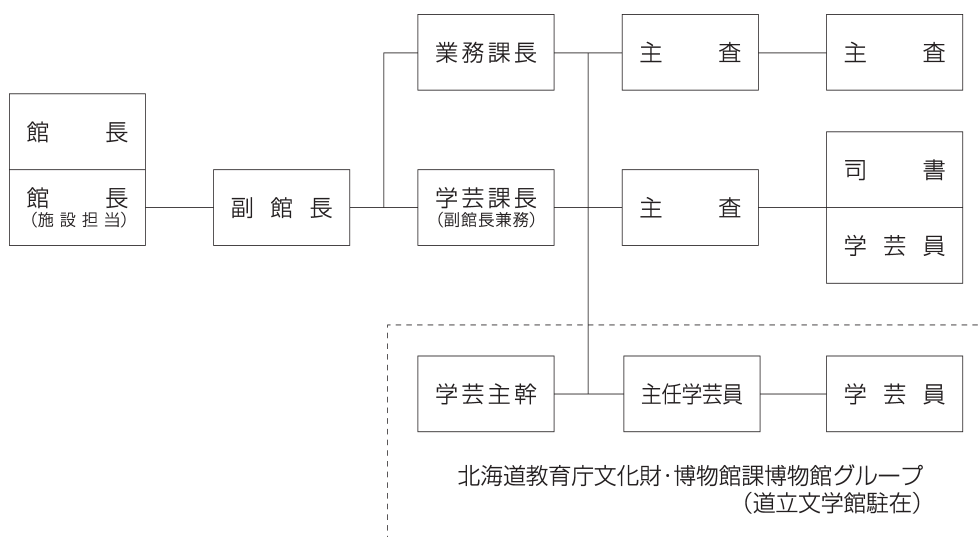
区 分	購 入	寄 贈	合 計
図 書 資 料	428	2,550	2,978
雑 誌 資 料	391	5,923	6,314
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	1	1
特 別 資 料	8	433	441
計	827	8,907	9,734

〈主な収集特別資料一覧〉

伊藤整自筆原稿「谷崎潤一郎の生涯と文学」(400字詰 34 枚)	1 点	購入
今日出海自筆原稿「鸚鵡男」(400字詰 26 枚)	1 点	購入
吉田一穂自筆原稿「むらのかぢや」(400字詰 5 枚)「三文オペラ」(400字詰 5 枚)	2 点	購入
福永武彦自筆原稿「室生犀星の最後の一瞥」(200字詰 11 枚)	1 点	購入
斎藤茂吉書簡	3 点	受贈
平澤秀和旧蔵資料	63 点	受贈
高校演劇資料	194 点	受贈
脇田繁旧蔵資料	45 点	受贈
蘭繁之旧蔵資料	128 点	受贈

## ■ 組織及び職員 ■

### I 組織機構図



### II 職員

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名		
館長	池澤夏樹	学芸課 司書	三井沙紀		
館長(財団副理事長)	酒向憲司	学芸課 学芸員	吉成香織		
副館長(財団専務理事)	谷口孝男	北海道教育庁文化財・博物館課 博物館グループ(道立文学館駐在)			
業務課長(財団常務理事)	武田和弘				
業務課 主査	榎本幸夫			学芸主幹	佐藤幸宏
業務課 主査	佐々木孝夫			主任学芸員	苫名直子
学芸課 主査	丹伊田範子			学芸員	浅川泰

## ■ その他 ■

### I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展	62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
43	文学に見る北方風物展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
44	北海道旅の文学展	平成元	胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新壑」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
46	北海道詩歌展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念齋藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
47	目で見える札幌文学散歩	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	7	澤田誠一理事長就任 北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展	10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学大事典』発行、地域文化功労者賞受賞		
61	日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展		



年次	事項	年次	事項
	とその時代		
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』	20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことば・人のことば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望すー八木義徳
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展	21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」— 60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子/いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。— アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む — 遙か [樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のアヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学	22	常設展プレミアム・日本人の遺書、常設展プレミアム・《川柳王国》北海道の軌跡、特別展・蘭繁之の手仕事～“美”にこだわった津軽の奇才、特別展・北斎漫画展～伝承版木が伝える江戸の出版文化、ファミリー文学館・開いてびっくり！しかけ絵本展、特別展・吉村昭と北海道～歴史を旅する作家のまなざし
14	神谷忠孝理事長就任、特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド — きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～	23	特別展・追悼・後藤竜二展～子どもたちへの応援歌～高田三郎・小泉るみ子兄妹展、特別展・日は過ぎ去って僕のみは～福永武彦、魂の旅～、ファミリー文学館・絵本の原画を運ぼう！～現代版北前船の旅 あべ弘士「かちかち山」、特別展・赤色エレジーから小梅の初恋～林静一展、常設展プレミアム・森田たまの交友録 — 書簡にみる文学者たちの筆跡、特別展・李恢成の文学
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展	24	常設展プレミアム・書物の美～明治・大正期の詩集～、特別展・いせひでこ・絵本の世界—私の木、心の木、ファミリー文学館 幻想文学館 文豪たちのこわ～い話、特別展・新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界、特別展・戦後北海道の演劇、特別展・高橋揆一郎の文学
16	特別企画展・函館—青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～	25	常設展プレミアム・木版画家・佐藤国男による宮沢賢治ワールド、特別展・紙芝居の今昔、ファミリー文学館 絵本・カムイの物語、特別展・挿絵が僕らにくれたもの — ジブリが読み解く“通俗文化の源流” —、特別展・ほっかいどうの短歌100首、特別展・荒巻義雄の世界 — 都市型宇宙船 ニュー・ユートピア・シティにむかって
17	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀	26	「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル — 後山一朗が撮り続けた約束の刻、特別展・FROM HAND TO HAND 手から手へ展、特別展・ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～、ファミリー文学館“うま”とあそぼう!!、特別展・小檜山博の文学 — 野性よ退化する現代を撃て —
18	特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く — 山田秀三の地名研究から —、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～		
19	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡、ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～		
20	特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～		
21	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展・併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書齋から～		

## II 諸会議・運営日誌

平成 26 年

- 4月19日(土) 特別展「氷点」50年 三浦綾子フォトメモリアル——後山一朗が撮り続けた約束の刻——オープン(～7月6日)
- 4月20日(日) 公演「ヴァイオリン&ギタースプリングディオコンサート」
- 4月26日(土) 映画上映会「氷点」(2回実施)
- 4月27日(日) 映画上映会「氷点」
- 5月3日(土) ミニ巡回展「宮沢賢治の世界をアートする 2014～佐藤國男の版画を中心に～」(～6月29日)
- 5月5日(月) わくわくこどもランド(こどもの日手作りコーナー「こいのぼりをつくろう!」)
- 5月5日(月) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇」)
- 5月8日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 5月9日(金) 臨時理事会(財団)
- 5月11日(日) 文芸講演会「三浦綾子さんの思い出」(講師:後山一朗、合田一道)
- 5月17日(土) ウィークエンド・カレッジ(生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師:工藤正廣)
- 5月18日(日) 特別講演会「銃口の背景——北海道綴方教育連盟事件を取材して」(講師:佐竹直子)
- 5月20日(火) 監事監査(財団)
- 5月24日(土) ウィークエンド・カレッジ(愉快地川柳教室Ⅲ、講師:岡崎 守)
- 5月28日(水) 文学館出前講座(札幌市、講師:阿知良光治)
- 5月30日(金) 第1回運営検討委員会(財団)
- 5月31日(土) 朗読会「三浦綾子作品を読む」
- 6月6日(金) 第1回理事会(財団)
- 6月7日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせなど)
- 6月7日(土) 公演「心のコンサート」
- 6月7日(土) 文学館出前講座(滝川市、講師:森 一生)
- 6月8日(日) 文学館出前講座(滝川市、講師:森 一生)
- 6月8日(日) 文芸講演会「三浦綾子の文学」(講師:神谷忠孝)
- 6月8日(日) 文学館出前講座(苫小牧市、講師:村井裕子、あらひろこ)
- 6月12日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 6月14日(土) ウィークエンド・カレッジ(愉快地川柳教室Ⅲ、講師:岡崎 守)
- 6月15日(日) 朗読会「三浦綾子作品を読む」
- 6月18日(水) 文学館出前講座(北広島市、講師:おはなしの会「ぐりとぐら」)
- 6月20日(金) 定時評議員会(財団)
- 6月21日(土) ウィークエンド・カレッジ(韓国の文化を楽しむ、講師:梶谷 崇)
- 6月21日(土) 臨時理事会(財団)
- 6月27日(金) ウィークエンド・カレッジ(北海道文学館所蔵資料解説Ⅱ、講師:喜多香織)
- 6月28日(土) ウィークエンド・カレッジ(生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師:工藤正廣)
- 6月28日(土) 公演「しの笛コンサート」
- 6月29日(日) 映画鑑賞会「若い人」
- 7月5日(土) ミニ巡回展「文豪たちのこわ～い話」(～8月24日、東神楽町)
- 7月5日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせなど)
- 7月5日(土) 公演「國松竜次ギターコンサート」
- 7月8日(火) ミニ巡回展「鳩沢佐美夫自筆資料」(～8月3日)
- 7月10日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 7月11日(金) 理事・評議員合同協議会(財団)
- 7月18日(金) カルチャーナイト2014(常設展夜間開館、たそがれ川柳会、古書バザールほか)
- 7月19日(土) 特別展「FROM HAND TO HAND 手から手へ展 絵本作家から子どもたちへ 3.11後のメッセージ」オープン(～8月24日)
- 7月19日(土) ウィークエンド・カレッジ(生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師:工藤正廣)
- 7月19日(土) ウィークエンド・カレッジ(韓国の文化を楽しむ、講師:梶谷 崇)
- 7月21日(月) 文芸講演会「絵本の楽しみは深くて広い～子どもの場所から～」
- 7月25日(金) ウィークエンド・カレッジ(北海道文学館所蔵資料解説Ⅱ、講師:喜多香織)
- 7月26日(土) 合唱コンサート「“手から手へ”のこころ 歌にのせて」
- 7月26日(土) 文学館出前講座(東神楽町、講師:新明英仁)
- 7月26日(土) ウィークエンド・カレッジ(愉快地川柳教室Ⅲ、講師:岡崎 守)
- 7月27日(日) 文芸講演会「“手から手へ展”のはじまりと、これまで。そして、これから」(講師:降矢奈々)
- 7月28日(月) 文学館出前講座(真狩町、講師:岸田典大)



- 7月29日(火) 臨時理事会(財団)
- 7月30日(水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」、講師：小路幸也(～8月1日)
- 8月2日(土) ワークショップ「わたしからあなたへ お絵かきバトン どんなのできるかな?」講師：かとうまふみ
- 8月2日(土) 公演「河野智美ギターコンサート」
- 8月3日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「サマーブックをつくろう!」)
- 8月5日(火) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月6日(水) わくわくこどもランド(手作り教室「紙芝居をつくろう!」)
- 8月7日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 8月7日(木) 読み聞かせ「手から手へ」よみきかせタイム
- 8月7日(木) 長期休業期間における指導者研修
- 8月9日(土) わくわくこどもランド(夏休みスペシャル「絵本の読み聞かせと音楽のコラボ」)
- 8月9日(土) 合唱コンサート「手から手へ」のこころ 歌にのせて
- 8月10日(日) 読み聞かせ「手から手へ」よみきかせタイム
- 8月16日(土) ウィークエンド・カレッジ(生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師：工藤正廣)
- 8月22日(金) ウィークエンド・カレッジ(北海道文学館所蔵資料解説Ⅱ、講師：横田由紀子)
- 8月23日(土) ウィークエンド・カレッジ(愉快地川柳教室Ⅲ、講師：岡崎 守)
- 8月24日(日) 合唱コンサート「手から手へ」のこころ 歌にのせて
- 8月24日(日) 文学館出前講座(旭川市、講師：谷口孝男)
- 8月28日(木) 文学館出前講座(留萌市、講師：田村英一、佐藤洋一)
- 8月28日(木) 文学館出前講座(札幌市、講師：岸田典大)
- 8月29日(金) 文学館出前講座(平取町、講師：クレヨンカンパニー)
- 8月30日(土) ウィークエンド・カレッジ(韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇)
- 9月6日(土) 特別展「ムーミンの世界展～ヤンソンさんからの贈り物～」(～11月9日)
- 9月6日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせなど)
- 9月11日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 9月11日(木) 文学館出前講座(中標津町、講師：田村英一)
- 9月12日(金) 理事・評議員合同協議会(財団)
- 9月14日(日) 文学館出前講座(釧路町、講師：岸田典大)
- 9月20日(土) ウィークエンド・カレッジ(生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師：工藤正廣)
- 9月23日(火) 文学館まつり(常設展の無料開放、一日限りの特別資料公開、こども広場、秋のミニ色紙作り、文学館演芸場)
- 9月25日(木) 文学館出前講座(ニセコ町、講師：岸田典大)
- 9月26日(金) ウィークエンド・カレッジ(北海道文学館所蔵資料解説Ⅱ、講師：浅川 泰)
- 9月27日(土) 文学館出前講座(幌加内町、講師：ボランティア)
- 9月27日(土) ウィークエンド・カレッジ(愉快地川柳教室Ⅲ、講師：岡崎 守)
- 9月27日(土) ウィークエンド・カレッジ(韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇)
- 9月28日(日) 映画鑑賞会「パペットアニメーション～ムーミン谷の夏まつり～」(2回実施)
- 10月2日(木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」
- 10月4日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせなど)
- 10月4日(土) 朗読会「原田康子の世界」(出演：松井信子、田村英一)
- 10月4日(土) 文学館出前講座(新ひだか町、講師：田村英一、佐藤洋一)
- 10月7日(火) 文学館出前講座(札幌市、講師：岸田典大)
- 10月10日(金) 文学館出前講座(札幌市、講師：田村英一、佐藤洋一)
- 10月17日(金) 文学館出前講座(釧路町、講師：田村英一、佐藤洋一)
- 10月18日(土) ウィークエンド・カレッジ(韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇)
- 10月24日(金) ウィークエンド・カレッジ(北海道文学館所蔵資料解説Ⅱ、講師：森 一生)
- 10月25日(土) ウィークエンド・カレッジ(生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師：工藤正廣)
- 10月25日(土) ウィークエンド・カレッジ(愉快地川柳教室Ⅲ、講師：岡崎 守)
- 10月29日(水) 文学館出前講座(室蘭市、講師：岸田典大)
- 11月1日(土) わくわくこどもランド(秋のスペシャル「人形劇」)
- 11月1日(土) 文学館出前講座(松前町、講師：岸田典大)
- 11月2日(日) 文字活字文化の日関連講演会「ファンタジーと神話——古事記からムーミンまで」(講師：金沢英之)
- 11月3日(月) 文学館出前講座(厚真町、講師：岸田典大)
- 11月7日(金) 古典の日記念朗読会(出演：ドラマチックリーディンググループ蔵)
- 11月8日(土) 文学館出前講座(新冠町、講師：田村英一、明楽みゆき)
- 11月8日(土) 文学館出前講座(奥尻町、講師：岸田典大)

- 11月13日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 11月14日 (金) ロビーコンサート (出演：中華二胡学院 with 札幌瀋陽合奏)  
 11月15日 (土) ウィークエンド・カレッジ (生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師：工藤正廣)  
 11月15日 (土) ウィークエンド・カレッジ (愉快に川柳教室Ⅲ、講師：岡崎 守)  
 11月15日 (土) ウィークエンド・カレッジ (韓国の文化を楽しむ、講師：梶谷 崇)  
 11月19日 (水) ロビーコンサート (出演：バロック・コレギウム・サッポロ)  
 11月22日 (土) ファミリー文学館「“うま” とあそぼう!!」オープン (～1月18日)  
 11月22日 (土) 小・中・高生短歌コンテスト表彰式  
 11月22日 (土) 読み聞かせタイム  
 11月28日 (金) ウィークエンド・カレッジ (北海道文学館所蔵資料解説Ⅱ、講師：森 一生)  
 11月29日 (土) ワークショップ「ウマのマリオネットをつくろう！」  
 12月6日 (土) 読み聞かせタイム  
 12月6日 (土) 文学館出前講座 (八雲町熊石、講師：クレヨンカンパニー)  
 12月6日 (土) 公演「東日本大震災被災地復興チャリティーコンサート」  
 12月7日 (日) 文学館出前講座 (八雲町、講師：クレヨンカンパニー)  
 12月11日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 12月13日 (土) 読み聞かせタイム  
 12月13日 (土) 文芸トーク「馬——加藤多一の世界」  
 12月14日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室「ツリーをつくろう！」)  
 12月19日 (金) 文学館出前講座 (札幌市、講師：岸田典大)  
 12月19日 (金) 公演「こころのコンサート」  
 12月20日 (土) わくわくこどもランド (クリスマススペシャル「ペープシアター・ボードビル」)  
 12月21日 (日) 映画鑑賞会「新選組始末記」  
 12月23日 (火) 文学館出前講座 (千歳市、講師：おたのしみ劇場ガウチョス)  
 12月27日 (土) 読み聞かせタイム  
 12月27日 (土) ウィークエンド・カレッジ (愉快に川柳教室Ⅲ、講師：岡崎 守)
- 平成27年
- 1月8日 (木) 文学館出前講座 (帯広市、講師：クレヨンカンパニー)  
 1月8日 (木) 長期休業期間における指導者研修  
 1月10日 (土) 読み聞かせタイム  
 1月11日 (日) わくわくこどもランド (手作り教室「カルタをつくろう！」)  
 1月17日 (土) ウィークエンド・カレッジ (生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師：工藤正廣)  
 1月17日 (土) 読み聞かせタイム  
 1月18日 (日) 文芸講演会「自作を語る」(講師：本田哲也)  
 1月23日 (金) 池澤夏樹連続講演会 (第1回)  
 1月24日 (土) ウィークエンド・カレッジ (愉快に川柳教室Ⅲ、講師：岡崎 守)  
 1月31日 (土) 特別展「小檜山博の文学——野性よ退化する現代を撃て——」オープン (～3月22日)  
 1月31日 (土) 文芸講演会「私の原風景」(講師：小檜山博)  
 2月7日 (土) わくわくこどもランド (絵本の読み聞かせなど)  
 2月8日 (日) 文芸講演会「小檜山博文学の現代的意義」(講師：神谷忠孝)  
 2月12日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 2月15日 (日) 朗読会「小檜山博のエッセーを読む」  
 2月21日 (土) ウィークエンド・カレッジ (生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師：工藤正廣)  
 2月21日 (土) 池澤夏樹連続講演会 (第2回)  
 2月22日 (日) 映画上映会「恋するトマト」  
 2月27日 (金) 第2回理事会 (財団)  
 2月28日 (土) ウィークエンド・カレッジ (愉快に川柳教室Ⅲ、講師：岡崎 守)  
 3月1日 (日) 草原賞記念講演会 (講師：丘 修三)  
 3月7日 (土) わくわくこどもランド (ひなまつりスペシャル)  
 3月7日 (土) 朗読会「小檜山博のエッセーを読む」  
 3月8日 (日) 文芸トーク「小檜山博への質問」(講師：小檜山博、阿部典英)  
 3月12日 (木) 月例朗読会「北の響～名作を声にのせて～」  
 3月15日 (日) 公開読書会  
 3月20日 (金) 池澤夏樹連続講演会 (第3回)  
 3月21日 (土) ウィークエンド・カレッジ (生涯読書会「流離譚」を読み切る)、講師：工藤正廣)  
 3月22日 (日) 映画鑑賞会「南極料理人」  
 3月27日 (金) 第2回評議員会

### III 公益財団法人北海道文学館役員名簿

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	木村 敏男	山名 康郎	小檜山 博
	神谷 忠孝	荒巻 義雄	李 恢成			<9名>
参与	朝倉 賢	加藤 多一	木村真佐幸	小杉 捷七	佐々木 譲	鈴木 光彦
	高島 二郎	藤堂志津子	永井 浩	原子 修	比良 信治	村井 宏
	村田 俊秋	八子 政信	吉田 秋陽	米坂ヒデノリ	辻脇 系一	谷 暎子
	出村 文理					<19名>

#### 役職員

理事長 1	工藤 正廣	監 事 1	中村 孝一	評 1	東 延江	評 25	五十嵐秀彦
副理事長 2	内田 弘	// 2	野坂 幸弘	// 2	阿知良光治	// 26	田湯 岬
// 3	平原 一良			// 3	飯塚 優子	// 27	日浅 尚子
// 4	酒向 憲司			// 4	石本 裕之	// 28	三浦 幸司
専務理事 5	谷口 孝男			// 5	植松美由紀	// 29	
常務理事 6	武田 和弘			// 6	笠井 嗣夫	// 30	
理事 7	岡崎 守			// 7	菊地 寛		
// 8	片山 晴夫			// 8	岸 美千代		
// 9	國松明日香			// 9	熊谷ユリヤ		
// 10	斉藤 征義			// 10	桜井 健治		
// 11	柴村 紀代			// 11	佐藤 将寛		
// 12	瀬戸 正昭			// 12	佐野 良二		
// 13	立花 峰夫			// 13	柴橋 伴夫		
// 14	本田 優子			// 14	高橋 秀明		
// 15	前川公美夫			// 15	滝谷 泰星		
// 16	源 鬼彦			// 16	田口 耕平		
// 17	森 一生			// 17	田中 綾		
// 18	安高 誠吾			// 18	中館 寛隆		
// 19	和田 由美			// 19	中村 三春		
// 20	中澤千磨夫			// 20	橋本 征子		
// 21	澤田 展人			// 21	平野 温美		
// 22				// 22	松島 東洋		
				// 23	山崎真紀子		
				// 24	若宮 明彦		

#### 収集資料選定委員会

副理事長	平原 一良
参与	辻脇 系一
参与	出村 文理
参与	谷 暎子
評議員	中館 寛隆

#### 規約・規程検討委員会

副理事長	内田 弘
副理事長	酒向 憲司
理事	前川 公美夫
理事	安高 誠吾
常務理事	武田 和弘

平成26年度年報（平成28年2月発行）

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

**北海道立文学館**

〈指定管理者〉公益財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号  
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266